



B(2)④ 教員や研究員の国際公募の推進



大阪大学に優秀な研究者を世界から集める「国際公募」の実施に向け、現状の課題分析、対策立案と評価に基づき、国際公募手続き支援プログラムを実施した。

本事業のポイント

1. 教員・研究員の国際公募を浸透させるために、人事課と協力して、平成28年7月に理事名で国際公募の推進を改めて周知。
2. 各部局における国際公募の実態を詳細に把握するための学内調査を実施。結果、公募関連業務の英文対応の負担が課題であると判明。
3. 学内調査を踏まえ、国際公募の学内定着に向けて、平成28年度下期から、公募要領の英文作成支援、英文応募資料の点検の協力をURAが実施。
4. 部局向けの国際公募英文化支援マニュアル(ツール)の整備

今後の課題

現状

- 国際公募割合 約50% (平成27年度)
- 国際公募に関する部局調査を実施し、回答に基づきより効果的な支援プログラムを検討



- 大阪大学の国際化に向けた現状の環境を踏まえ、具体的な国際公募支援プログラムの実施
- 現状に合わせた新しい国際公募支援プログラムの構築(部局向け国際公募用英文作成マニュアル(ツール)の作成等)

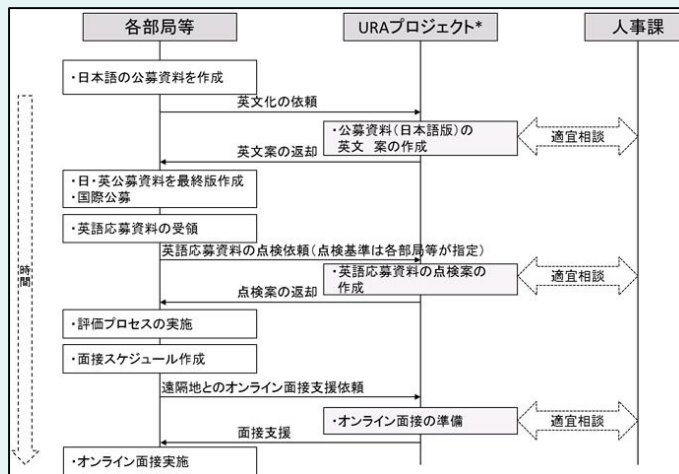
国際公募手続き支援プログラムの内容

- 公募要領(日本語版)の英文案の作成
- 各部局作成の点検基準に基づく、応募書類(英文)の点検案の作成
- 遠隔地とのオンライン面接の実施支援
- 部局向けの国際公募英文化支援マニュアル(ツール)の作成

- これまでに行った支援についてのフォローアップアンケートにおいて、有用性に関して高い評価を得ている。



英文案の例



国際公募手続き支援の流れ